2026 年度 第 2 回材料研究会／九州・西日本支部合同研究会のご案内

次世代の核融合炉をはじめとする超電導応用では、高磁場・高電流密度に対応した超電導線材に加え、極低温・高磁場環境に耐える構造材料や、これらを実機マグネットとして成立させる製造技術の発展が求められています。

本研究会では、核融合用超電導マグネットを主な対象として、実機側から材料・線材・製造技術に求められる性能を俯瞰するとともに、新しい構造材料、超電導線材およびマグネット製造技術の研究開発について議論します。なお、本研究会は、材料研究会と九州・西日本支部の合同研究会として、対面・オンラインのハイブリッド形式で開催します。また、研究会終了後には、翌日に開催する九州・西日本支部若手セミナー・支部研究成果発表会との合同懇親会を予定しています。

テーマ：核融合炉をはじめとする次世代超電導応用に向けた材料・線材・製造技術
日　時：2026 年 10 月 30 日（金）
開催方法：ハイブリッド形式
場　所：鹿児島大学学習交流プラザ 2F　学習交流ホール
https://www.kagoshima-u.ac.jp/about/campusmap.html　　PDF ファイルマップの A-28
〒890-8580 鹿児島市郡元 1 丁目 21 番 24 号
オンライン接続先は参加申込者に別途ご案内します。

プログラム（予定）

13:10～13:15　開会の挨拶
材料研究会委員長　土井 俊哉（京都大学）

13:15～14:15　ITER 超電導マグネットの開発経験と、原型炉・高温超電導マグネットに向けた技術開発・研究課題
辺見 努（量子科学技術研究開発機構）

14:15～15:15　核融合炉を支える先進構造材料
笠田 竜太（東北大学金属材料研究所）

15:15～15:25　休憩

15:25～16:15　核融合用超伝導マグネットの製造技術と実機化に向けた課題
下之園 勉（株式会社東芝）

16:15～16:20　閉会の挨拶
九州・西日本支部長　　小田部　荘司（九州工業大学）

懇親会：研究会終了後に開催予定
詳細は参加申込者に別途ご案内します。

参加費：資料代 3,000 円（予定）（申込者には別途、資料の電子データをメールなどで配布します）
支払方法： イベントペイ（クレジットカード、コンビニ決済）参加申込 URL からの申込時に決済いたします。
オーガナイザー：川越　明史（鹿児島大）、木内　勝（九工大）、寺西　亮（九大）、嶋田雄介（九大）
参加申込： 次の URL もしくは二次元コードから申込をお願いします。
https://eventpay.jp/event_info?shop_code=7876370783154943&EventCode=C286070211
申込期限： 2026 年 10 月 16 日（金）
問合せ先： 川越　明史
E-mail：kawagoe@eee.kagoshima-u.ac.jp
Tel：099-285-8403

研究会翌日に開催予定の九州・西日本支部若手イベント・支部研究成果発表会へも奮ってご参加ください（別途、メール等で案内あり）。